



# WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦会長スローガン =

## “ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30~ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3405例会	No. 24	2025.1.22	
点鐘・ロータリーソング	12時30分	「それでこそロータリー」	
ロータリーの目的		村社浩二君	
ゲスト	2730地区 社会奉仕委員会 委員長 势由美子様 (宮崎アカデミーRC)		
例会行事		結婚誕生者卓話	

### 会長時間



開発のきっかけは、QRコードが開発される以前、商品管理や物流業界では、1次元バーコード（いわゆる縦方向の線で構成されたバーコード）が主流でした。しかし、この1次元バーコードには限界がありました。どのような限界があったかといいますと、まずは、情報量の制限です。格納できる情報量が少なく、識別用のコード番号しか記録できません。そして、読み取り速度においても、効率が悪く、複数のバーコードを読み取る場合、作業に時間がかかりました。もうひとつは、大きなラベルが必要であったということ。情報を増やすとバーコードが長くなってしまうため、省スペース化が困難でした。小さなラベルにできなかったのです。このような課題を解決するため、より多くの情報を小さなスペースに記録でき、かつ高速で読み取れるコードの開発した企業が、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません、デンソーウェーブという企業です。デンソーウェーブは1976年に設立されました。親会社は株式会社デンソーでデンソーの完全子会社であり、100%の資本をデンソーが出資しています。親会社のデンソーは、自動車部品やシステムの開発・製造が主力で、主に自動車業界向けに製品を提供しており、電子制御技術、エンジンシステム、自動運転技術などを手掛けています。それに対してデンソーウェーブは、産業機械や情報技術を中心とした事業を展開し、主な製品として、今お話ししています QR コード、自動車部品の製造現場を支える産業用ロボットを開発。物流や小売業で使われるバーコードおよび QR コードリーダーや、物流や製造現場の効率化を支援するシステムである自動認識技術を手掛けています。デンソーウェーブのロボットや自動認識技術は、デンソーの自動車部品製造ラインに活用され、デンソーはデンソーウェーブの製品や技術を、効率的な生産と品質向上のために採用しています。話を戻しますが、QRコードはデンソーウェーブが部品管理システムの効率化を目指し、1992年にプロジェクトをスタートさせました。主導したのは、デンソーウェーブの技術者である原昌宏氏を中心としたチームです。原氏は、法政大学を卒業後の1980年、トヨタグループの部品サプライヤーであるデンソーに入社し、入社当初はバーコードリーダーの開発などを行っていました。開発部門に所属していた原氏は、自動車部品の管理の効率化という現場からの要求に応えるため、新たなコードの開発を開始しました。基本構造の発案として、1次元ではなく2次元方向に情報を記録する発想が採用されました。当時存在していた他の2次元コード、例えば、PDF417や、データマトリックスなどは、読み取り速度が遅くて大量のデータを扱うには不向きでした。開発チームは、高速スキャンを可能にする構造、大容量データの格納、一部が汚れたり破損したりしても復元可能な誤り訂正機能を重視して設計しました。約2年の開発期間を経て、1994年にQRコードが完成しました。名前の由来は「Quick Response (迅速な応答)」で、高速読み取りが特徴であることを表

しています。QR コードの特徴として、位置検出パターンの採用があります。読み取りの精度と速度を上げるために、QR コードの角に 3 つの大きな四角いマークを設置し、これにより、どの角度からでもコードをスキャン可能になり、作業効率が大幅に向上了しました。最大で約 7,000 文字分の情報を格納可能な大容量、瞬時に情報をスキャンできる設計、データの 30% が破損していても復元可能で、誤り訂正のレベルを選択することが可能だそうです。360 度どの角度からでも読み取れる。汎用性もあり、テキスト、URL、画像リンク、その他の形式をサポートできます。素晴らしいです。当初は工場内の部品管理に使用されていましたが、次第に他の分野でも採用されました。日本国内の物流や製造業で広まり、1990 年代後半から 2000 年代初頭にかけて、モバイル機器の普及とともに一般消費者にも広がってきました。特に、スマートフォンの普及とカメラ機能の進化により、QR コードを読み取ることが簡単になり、広告やチラシ、商品パッケージ、決済、チケット、観光案内など、多様な用途で使われるようになりました。具体的には、QR コードはスマートフォンで簡単に読み取れるため、モバイル決済。例えば、PayPay や LINE Pay などに利用されたり、広告や商品のパッケージに QR コードを載せ、消費者に対してキャンペーン情報やウェブサイトへのリンクを提供する手段として利用されたりもしています。その他、交通機関のチケット、イベントの入場券などにも QR コードが使われ、オンラインでの購入後に QR コードをスマートフォンで表示して利用することが一般的です。私は、映画を見に行くときに、よくネットを利用して席を確保するのですが、最初の頃は、数字の羅列だったのが、最近は、いつの間にか QR コードになっていてびっくりしました。予約の QR コードをダウンロードして、それを入場の時に読み取ってもらう。簡単で、早くとても便利だと思いました。認証手段としても使用されており、例えば銀行のセキュリティや二要素認証（2FA）で利用されることもあるそうです。このように、QR コードは次第にその便利さが広まり、さまざまな分野で利用されるようになりました。特に、モバイル機器の普及とともに、その使い勝手の良さから、今日では生活の中で欠かせない技術となっています。現在では国際規格として認定され、全世界で広く使用されています。開発者の原昌宏氏は、「QR コードは特別なものではなく、必要に応じて生まれた自然な解決策だ」と述べています。ユーザーの課題を解決することを目的としたシンプルで効果的な設計が、QR コードの成功の鍵でした。と、ここまで作って準備していたのに、ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません、きのうの夕方のニュースで QR コード詐欺の話題が出ていました。詐欺師が QR コードを上から張り付けて、情報を盗み取るという手口らしいです。フードコートや、レストランとかでも QR コードで注文を取るお店も増えています。お店のコードの上に張り付けるらしいですので皆さん気を付けましょう。クレジットカードの情報を聞いていたら、まず怪しいとおもうことが詐欺にあわないための一つの手段かもしれません

## 例会行事

## = 結婚・誕生者 卓話 =

○親睦委員会

<誕生> 石灘寛樹君（1965年1月12日）<結婚> 甲斐信之君（1985年1月14日）



### 還暦

石灘寛樹君（誕生）

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。1月12日に60歳になりました。いつの間にか暦が一巡りしてしまいました。今年は、還暦ということで、Re-born をテーマにいくつかチャレンジをしたいと思っています。今回は泰平踊りについてお話しします。泰平踊り、江戸時代元禄の頃に、藩公より侍が町衆と一緒に踊ることの許可がなされ（ということは公式には踊っていたようでもあります）、以来300年以上（明治初期に一時中断します）当地において踊ってきた盆踊りです。一説には集落ごとに踊りがあったようですが、現在は、鶴組（今町組）と私の所属する亀組（本町組）の二つが残るのみです。この二つ組はいろいろと異なるところがあります。

侍は、編笠をかぶるのは共通ですが、編笠の飾りが鶴組はちょうどちょ結び、亀組は松葉結びになっています。着物の色も鶴組は紫色で、亀組は青です。着物の紋も、鶴組は庵木瓜紋、亀組は九曜紋というふうに違っています。また歌も違います。鶴組は日南地区の地名を織り込んだ歌ですが、亀組は伊東祐兵公をたたえる歌です。昭和38年には宮崎県の無形文化財に指定されました。江戸の昔の頃は若衆がおどる踊りだったと思われますが、今は私のような還暦のおじさんも踊っています。いずれの団体も同様だと思いますが、泰平踊りも踊り手あるいはお囃子のなり手が不足しています。伝統芸能にご興味のある方は保存会に参加してみませんか？

## 幹事報告

1. 本日の宮崎日日新聞に当クラブ会員の古澤昌子くんの経営する古澤醸造の記事が掲載されておりましたので、皆さんお読みになったかとは思いますが掲載記事をご案内いたします。

## スマイル

西島 元利君 日曜日の宮崎日日新聞の一面に顔写真とともに記事が掲載されました。顔写真がスマイルには程遠い、ひどい表情のものを使われて納得がいきませんが、地震対策の必要性はしっかりと伝え出来ましたのでスマイルします。

古澤 昌子君 今日の宮崎日日新聞9面「この地にこの酒あり 宮崎の蔵元・醸造元を巡る」の第3弾に古澤醸造を取り上げて頂きました。ユネスコに伝統的酒造りが登録されて改めて取り上げて頂いています。水曜日に連載されます。

石灘 寛樹君 先週のクラブ協議会の運営に不手際がありました。どうもすみませんでした。

勢井由美子君 地区社会奉仕委員会 委員長

日南市油津で生まれました。日南への思いは強く、今日は楽しみに参りました。  
色々とお世話になります。

## 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率(%)
今週	30	7(5)	25	21	2	2	23	92.00%
出席免除	落丸、小玉、清水、野崎、渡邊							
先取MU	甲斐、菊池							
欠席	榎木田、斎藤篤史							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斎藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jpまで送信してください